

平成29年12月21日

第28期東京都立図書館協議会

平成28年度都立図書館自己評価に対する意見

第28期東京都立図書館協議会は、第2回定例会（平成29年12月21日開催）において、東京都立図書館が実施した「平成28年度東京都立図書館自己評価」に対し、意見を述べた。主な意見は以下のとおりである。

【来館型サービスに関する指標】

○自己評価の中には、指標項目により増えているものも減っているものもあるが、その中には、入館者数やレファレンス質問件数等の大事な指標項目もある。今回の資料ではそうした大事な項目についても3年間分しか指標の数値が出ていないが、いずれもかなり長期にわたり減少傾向にあると思う。そうした傾向の背景について、もう少し深い分析が必要ではないか。

【非来館型サービスに関する指標】

○都立図書館のウェブサイトについて、訪問者が、どの検索ワードを用いて、東京都立図書館のウェブサイトにとどり着いているのか、検索ワードの分析をしてはどうか。

【広報に関する指標】

○指標24のSNS利用状況について、TwitterやFacebookではフォロワーや「いいね！」の数が増えていて素晴らしいと思う。今後はユーザーの居住地や年齢、性別などを把握し、それを指標項目とすることで、図書館が発信する内容が都民にどのように届き、広がっているのかを分析していくとよい。